

令和8年度 福岡市職員研修基本計画

近年、社会経済情勢が大きく変動し、行政運営を取り巻く環境は一段と複雑化・高度化している。急速に進む少子高齢化や国際情勢の不安定化に伴う経済の不確実性など、行政が向き合う課題は多岐にわたる。また、AI・デジタル技術の飛躍的発展により業務のあり方自体が変化する一方、Well-being やダイバーシティ&インクルージョンといった新しい価値観も重視され、市民ニーズはますます多様化している。

このような中、我々福岡市職員は時代の変化への感度を高く保ち、新たな価値観へのソフトチェンジを進め、さらに質の高い行政サービスを構築、提供し続けなければならない。そのためには職員一人ひとりが自ら考え行動し、個人の力を組織の力として最大限に発揮できるように、更なる組織の活性化を図っていく必要がある。

さらに、深刻な人手不足に加え、働き手側の価値観の変化も相まって、あらためて組織の原動力が「人」であることに社会の注目が集まっている。人材育成においても、人材を「財」、「資本」として捉え、その能力を最大限に引き出し、全ての職員がやりがいと成長実感を得ることができる取組みが求められている。

そこで、令和8年度職員研修の実施にあたっては、「管理監督者マネジメント支援」「OJTの支援」「若手職員の育成」を重点取組み項目として位置付ける。

令和7年6月に策定された「福岡市職員の人材育成・活性化プラン」において、基本的な考え方として示された「職員のエンゲージメント向上」の視点を踏まえ、働き方改革として導入・拡大されているフレックスタイムやテレワーク、DXの推進などによる、組織やマネジメントの変化に対応するとともに、引き続きOJTを強化することで、これからの福岡市をけん引する若手職員の育成に力を入れていく。

以上の観点から、職員の能力開発と働きがいの両立を図り、市民から信頼され、社会の変化にスピード感をもって対応できる職員の育成を目指すとともに、職員が自ら学び、成長できる職場風土の醸成に向けた支援を進めていく。

令和8年度 重点取組み

次の3点について重点的に取り組みます。

(1) 管理監督者マネジメント支援

- ① 課長・係長を対象とした必修研修において、組織運営に必要なマネジメント研修を実施し、働き方改革やDX推進に伴う変化にも対応できる管理監督者を育成することで、組織のエンゲージメント向上を支援します。
- ② 係長を対象とした管理職(課長級)ウォームアップ研修を実施し、管理職に必要な考え方やスキル、心構えを昇任前に身に付けることで、昇任後の円滑な組織運営と人材育成を支援します。
- ③ 管理監督者を対象として、コーチングやメンタルヘルス、ワーク・ライフ・バランス、キャリア形成支援に関する研修を実施し、働きやすい職場環境づくり及び職員の意欲を向上させる人材育成を支援します。

(2) OJTの支援

- ① 「人材育成の基盤」と位置付けられるOJT(On The Job Training)を推進し、仕事を通じて職員の意識及び能力の向上を図る人材育成を支援します。
- ② 新採職員を指導する職場トレーナー養成講座を実施し、両者の成長を促すとともに、係長を対象としたOJTに関する研修を実施、職場全体での人材育成の活性化を支援します。

(3) 若手職員の育成

- ① 社会経済情勢や市民ニーズの変化にスピード感をもって対応できる、多角的で柔軟な発想を持つ、福岡市をけん引する若手職員の育成を図ります。
- ② タイムマネジメントや業務の効率化、キャリアデザインに関する研修や、民間人材等との交流を通じて高度な知識の習得を図る派遣研修を実施し、自ら考え、自らチャレンジする若手職員を育成します。